

魅惑の 南インド

タミール・ナドゥ州



Incredible India
インクレディブル●インディア

インド政府観光局
Indiatourism, Tokyo

ママラプラム

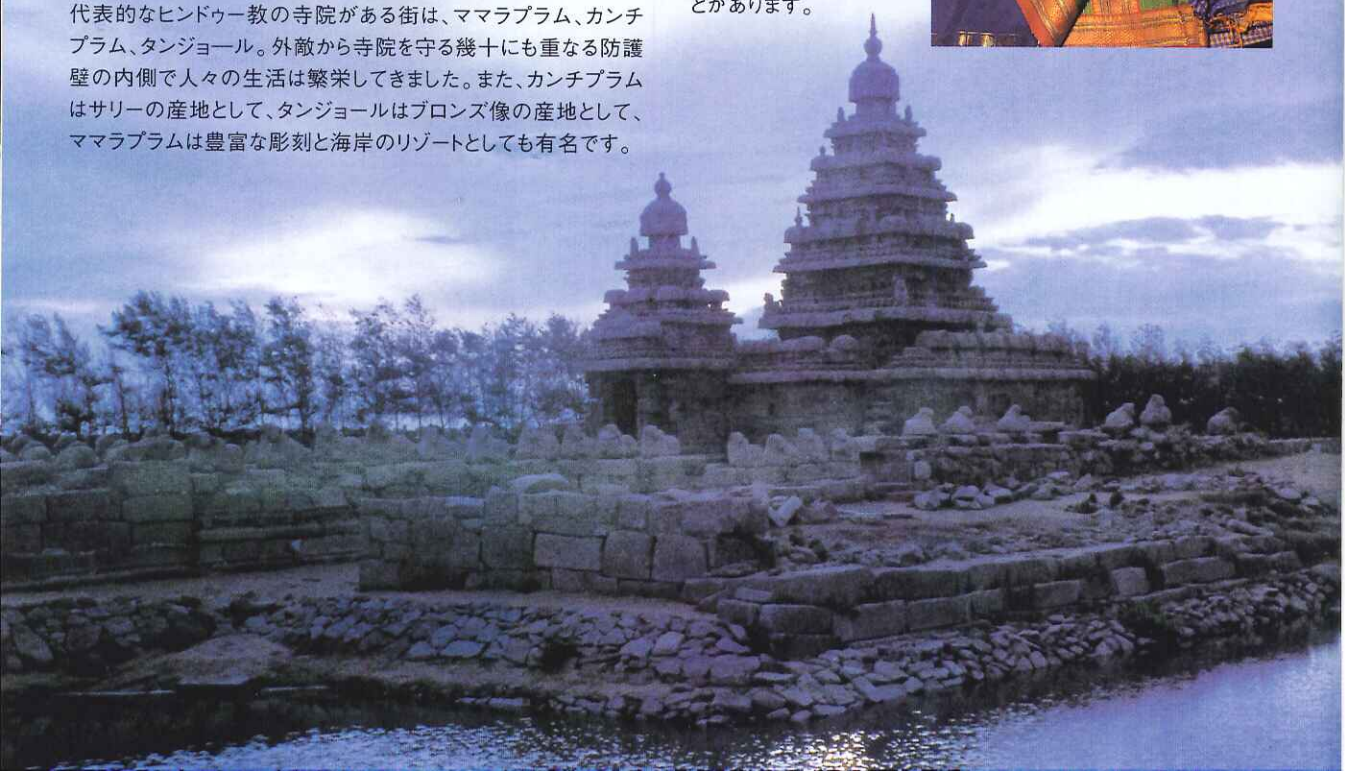


タミール・ナドゥ州はヒンドゥー教のメッカとも言える地域で、その伝統は今もなお脈々と受け継がれています。ゴプラと呼ばれる寺院の尖塔が高く聳えている風景がこの地方の特徴です。ここでは寺院は社会生活の重要な柱となり、宗教に端を発した芸術も数多くあります。なかでも神々のブロンズ像やガラス絵画、バハラットナッティヤムと呼ばれる踊りなどが有名です。代表的なヒンドゥー教の寺院がある街は、ママラプラム、カンチプラム、タンジョール。外敵から寺院を守る幾十にも重なる防護壁の内側で人々の生活は繁栄してきました。また、カンチプラムはサリーの産地として、タンジョールはブロンズ像の産地として、ママラプラムは豊富な彫刻と海岸のリゾートとしても有名です。

カンチプラム



カンチプラムは何千もの寺院がある街です。カンチプラムはインドの聖なる七都市の一つでもあります。その町はかつてパッラヴァ王朝の旧首都であり、素晴らしいシルクのサリーの産地としても有名です。名所としては、エカンバreshwara寺院、バラダヤスワミー寺院、カイラーサナザール寺院、カマクシ・アンマン寺院、絹織り職人地区などがあります。



タミール・ナドゥ

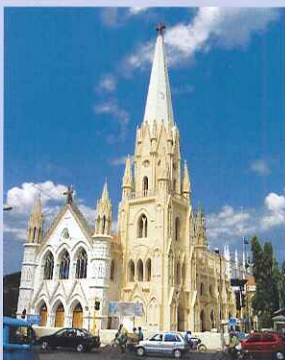
チェンナイ

以前、マドラスとして知られていたチェンナイは、タミール・ナドゥの州都です。

現在は、約600万人の住民を抱える大都市となりました。

かつては東インド会社の要であったセント・ジョージ砦は、現在、地方議会及び行政長官などが使用している。

世界で二番目に長い海辺があります。



聖トマス

チダムバラム

チダムバラムはナトラージャの神にささげられた寺院として有名です。ここに位置するアナマーニ大学は、チダムバラムの主要な大学です。ピチャヴァラム:ここから16キロのところにある密集したマングローブの森が点在する澄み渡ったバックウォーター(水郷地帯)が織り成す稀に見る美しい景色の場所です。



ポンディチェリー

長期にわたりフランスの植民地であったポンディチェリーには、インドの伝統的な寺院とはまったく対照的なものが見られ、現在でも広くフランス語が話され、ビーチに点在する別荘や石畳の道路が織りなす街並みは、南インドというよりは南フランスの街を彷彿とさせます。



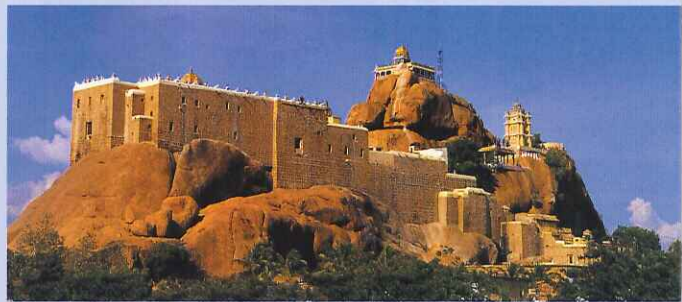
タンジャーヴール

カルナティック音楽、楽器、舞踊や伝統的手芸品のふるさとで、そのブラハディーシュワラ寺院で有名です。美術館とサラスワティー・マハール図書館は見所の一つとしてよく知られています。ティルヴァイヤール、ティルッカンディユール、クンパコナム、ティルブパナムは、いずれも40キロ以内にあり、小旅行に最適です。ナゴール(85キロ)は、イスラム教徒にとっての有名な巡礼地です。ヴェランガーニ(90キロ)はキリスト教徒にとっての神聖な地です。しかし宗教を問わず人々は両方の地で共に暮らしています。



ブラハディーシュワラ寺院

ティルチラパッリ



ティルチラパッリはその石城と83メートル以上の高さを誇る寺院で知られています。その他の有名な寺院はシュリーランガナータスワミー寺院(シュリーナンガム)とティルヴェンナイカバルにあるシバ寺院とサマヤプラムリアマン寺院です。ナルタマライ、シタナバーサルやクードゥミーヤンマライと古代の遺跡で有名な、そして入り組んだ壁画が見事なジャイナ教の洞窟があるクードウンパルルはちょっと足を伸ばす価値があります。アーユーダーイヤークイール(110キロ)は等身大の彫刻で知られ。ピラリマライ(28キロ)はムルガン寺院と孔雀の保護区で有名です。ムークンブ(20キロ)はもう一つのピクニックスポットです。

マドゥライ



ミナクシ寺院

一時はパンディヤ朝の都として栄え、今日ではタミールナドゥーの第二の都市として栄えています。そこには高くそびえる山門とすばらしい彫刻で有名なミナクシ寺院があります。その他の重要な見所はティルマイナーヤカ宮殿の音と光のショー、マリアマン池、クーダル アザガール寺院やガンジー博物館などがあります。近郊の見所はティルバラングンドラム(8キロ)にあるムルガン寺院、アラガールコヴィール(21キロ)にあるアザガール寺院、その4km登ったところのバザームティルチョーライにあるサブラマンニヤ寺院、パラニー寺院(122キロ)、スルリ滝(128キロ)とバイガイダム(68キロ)です。州境を越え、ケララ州には有名なベリヤール野生保護区(146キロ)があります。

ラメーシュワラム

インドの最も聖なる町のひとつで、そのインドで一番長い回廊で知られている寺院で有名です。



コータラム

コータラムには、南部の鉱泉が西ゴーツの高度167mのところにあります。リラックスのためにも最適な場所です。滝は聖なる場所として有名であり、6月から9月にかけてさわやかな気候が続きます。

見どころとしては、ティルチエンダール(Tiruchendur)(99キロ)にあるムルガ(Muruga)寺院。ティルネルヴェリ(Tirunelveli)市(58キロ)、クリシュナプラム(Krishnapuram)市(68キロ)、テンカシ(Tenkasi)市(5キロ)、そしてムンダスライ(Mundathurai)の虎の保護公園(75キロ)。ボート漕ぎも可能です。



カニヤクマーリ

カニヤクマーリは三大海流(インド洋、ベンガル湾、アラビア海)の交わる場所に位置しています。そこには、詩人、ティルバルヴェール(Thiruvalluvar)の44メートルの彫像、ガンジー記念碑、浜辺のヴィヴェカナンダ(Vivekananda)記念碑などがあり、クマリ・アンマン寺院へ巡礼者が訪れる南端の地としても有名です。





チャールミナール



サリフダム



アマラヴァティー



カイラーサナータ寺院



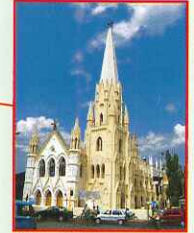
スリランガム



サンカラム



ナーガルジュナコンダ



聖トーマス



ママラプラム



ティルヴァルヴァル像

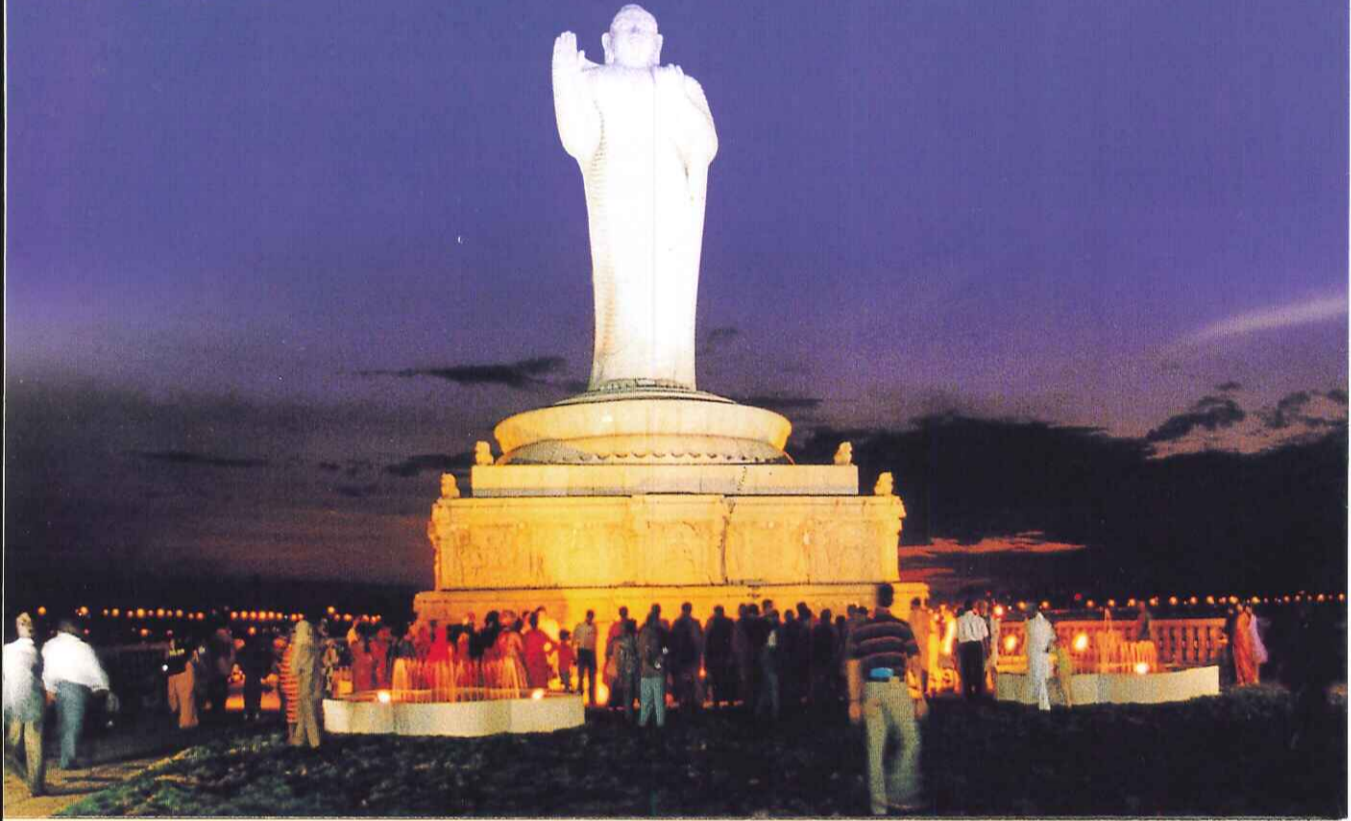


プリハディーシュヴァラ寺院

ハイデラバード—400年の古き神秘の町

古きものと新しきものとの美しい融合。ハイデラバードは、その街を訪れる人に、近代的な建物と400年の歴史を持つ魅惑的な建築物が隣り合わせに建ち並ぶ、ユニークな風景を見せてくれます。この街のイスラム文化のルーツ、インドのイスタンブールといわれる遺跡建造物があります。

アンドラプラデーシュ州の州都ハイデラバードでは、観光客は、絵のように美しい湖、フセイン・サーガル湖周辺を馬に揺られてまわると良いでしょう。この湖の近くには巨大な一枚岩でできたお釈迦様の彫像があります。そしてこの同じハイデラバードの郊外に、ハイテクシティがあります。ここが、アンドラプラデーシュ州全土に広がったソフトウェア革命を象徴するユニークなワンストップ・テクノパークです。フィルムシティは、もう一つの完全独立型の街で、一度に約100本の映画を作ることができる設備が整っています。



アンドラ・プラデーシュの豊富な寺院



ティルマラ・コブラム

ティルマラとティルパティの寺院は毎日数百万の観光客が訪れます。ティルマラの丘に建つヴェンカテシュワラ神の寺院はインドで最も崇められている神殿の一つです。主要な寺院はインドの代表的な寺院建築です。ティルパティではゴヴィンダラージャ・スワミ寺院とシュリ・マンガプーラム寺院が有名です。ティルパティ近郊のシュリ・カラハスティには、風の神ヴァユの神聖な神殿があります。ビジャカバトナムにあるシュムハチャラム寺院にはナラシムハ神が祀られています。

ビジャワダのカナカ・ドウルガ寺院はインドラキラの上に建てられています。

ヘマヴァティ寺院は、建築的価値が高く、西暦8世紀から9世紀に建てられた建物です。16世紀に建てられたレバクシ寺院には最も精巧な彫刻品や絵画があります。訪れる価値があります。



チャンドラギリ・フォート

自己の覚醒

アナタプール地区にある小さな村プッタバルティは、神シュリ・サッティヤ・サイババの居住地です。シュリー・サティヤ・サイババの隠遁所ブラシャンティ・ニーラヤムは、プッタバルティにあります。サイババの信奉者は圧倒的にインド人が多いですが、西洋人の信奉者も数多くいます。プッタバルティは最高平和の宿る場所として知られています。サイババの隠遁所はバンガロールから約170キロ地点にあります(車で3時間)。「ダルシャンの時間」(大きな祈りの広間ですべての人々にサイババが祝福を与える時間)は毎日2度行なわれます。巡礼センターへの添乗員付きツアーは、インド観光開発公社(ITDC)のAshok Travel & Tours、州観光公社そして旅行会社が提供しています。添乗員付きツアーに関する情報は、インド政府観光局または州政府観光局などで入手可能です。



レジャー

アンドラ・プラデーシュは豊富な自然に恵まれています。さまざまな訪問先で、渓谷、川、滝が出迎えてくれます。ビジャカバトナムは長い海岸線を誇り、ラーマクリシュナやリシコンダのビーチは、海水浴、水上スキー、ウィンドサーフィンに最高です。魅惑的なボツラ洞窟ツアーでは、壮麗な鍾乳石と石筍の形成層が楽しめます。青々とした緑溢れるアラク渓谷では、民族舞踊が今でも披露されています。ナーガルジュナサガル近郊のエチポターラの滝と、ティルパティにほど近いカイラーサナータ・コナ天然滝は美しい観光スポットです。高度1265メートルに位置する、涼しくて過ごしやすいホースレー・ヒルズは、避暑地として理想的です。チーク、ユーカリ、グルモハール、そしてマンゴーの林が訪問者を魅了します。



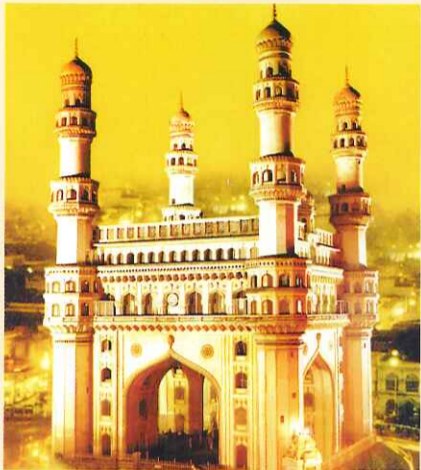
アンドラ・プラデーシュ

歴史的な土地



アンドラ・プラデーシュのどこを訪れても、常に歴史が息づいています。ハイデラバードはチャールミナルで有名です。それぞれが56メートルの高さがある、優美なミナレット（イスラム教寺院の尖塔）を4本備えた、歴史的に有名な門が高くそびえています。アラビア文化を体験したいなら、チャールミナルのすぐ脇が適しています。ラード・バザールは、石が散

りばめられた腕輪、真珠、婚礼用装身具、金欄、漆喰の腕輪、香水など求めるのに理想的なショッピングスポットです。メダック教会は、ゴシック様式の建物で国内最大です。巨大なステンドグラスの窓は、燃えるような色使いの絵の中で聖書の物語を再現しています。ハイデラバードにほど近い街ワランガルはあなたを歴史の物語の中へ引き込んでいきます。一見の価値のあるのは、豪華に彫刻の施された千本の柱を持つ千本柱寺院と美しいラマッパ湖畔にあるラマッパ寺院です。



チャールミナル

荘厳な歴史の名残



ゴルコンダ要塞

ハイデラバードから13キロ地点にあるゴルコンダ要塞は壮麗な建造物で、造り手の職人技が、周りを取り囲む城壁と小高い丘に建つ宮殿に反映されています。砦の最下部で手をたたく音が、61メートルの高さにある最高部で聞こえます。ゴルコンダ要塞の特筆すべき特長には、87の稜ほ（要塞の突角部）と8個の69フィート高の門があり、長時間象の攻撃にあっても持ちこたえることができる強度があります。ゴルコンダの統治者はみな裕福で、かの有名なコヒヌール・ダイヤモンド（英王室所蔵の108.8カラットのダイヤモンド）が彼らの繁栄の痕跡として今なお存在しています。オラングゼーブ（ムガル帝国皇帝）の大砲のひとつである、長さ20フィートの二つの大砲を、今もこの要塞で見ることができます。3月から10月まで夜7時から、11月から2月までは6時30分から、要塞でソニエルミール（史跡などで行なわれる夜間の野外劇などの催し物）が催されています。その他の観光要塞：ワランガル要塞、ティルパティ付近にあるチャンドラギリ要塞、ベヌコンダ要塞など。

ハイデラバードは豊かな文化遺産を育んでいる街です。これはバザールやフェスティバルの数や種類の多さに現れています。インド国内の他の地域でもこれらの催しは一般的に行なわれていますが、いくつかの催しはこの街独特の手法で祝われます。特に重要な催しには、国際風フェスティバル、カカティア・フェスティバル、全インド工芸美術フェスティバル、デカン・フェスティバル、ハイデラバード・フェスティバル、ルンビニ・フェスティバル、ビシャカ・ウトサブ&リシコンダ・ビーチフェスティバル、ビジャナガル・フェスティバル、アンドラ・プラデーシュ・フェスティバル、全インドギリジャン・フェスティバル、芸術家キャンプ、チャールキア・フェスティバル、花祭りなどがあります。

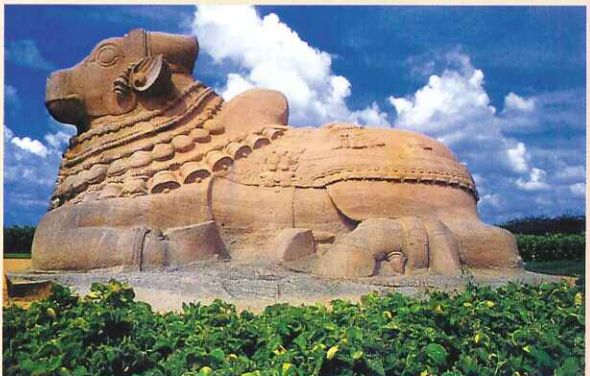
ショッピング

ハイデラバードはたくさんの魅力的な品物で溢れているので、思い出の品を手に入れぬまま街を去ることは、ほぼ不可能に近いことです。真珠とダイヤモンドは、中世期貴族たちがこの地に求めたものです。かの有名なコイヌール・ダイヤモンドは、この地で採掘され、現在英国王室の王冠を飾っています。紐に通して養殖した真珠や宝飾品は今でも盛んな産業で、多くの熟練工を抱えています。パーティウェアー銀にブラックメタルをはめ込んだもの、ポーチャムバリ・サリーや織物、シルクや綿の手織物、ガラスの腕輪、そしてその他手工芸品や香水が、ハイデラバードを買い物天国にしています。



仏教文化遺産

ニルバーナ（涅槃の境地）を求める人にとって、アンドラ・プラデーシュは仏教文化遺産の宝庫でもあります。紀元前300年から西暦400年までの間に、倫理、平静、良識を説く釈迦の教えは、マウリヤ朝のサタバハナ王とイクシュバク王統治時代に急速に広まりました。今日見ることができる仏教時代の遺物には、仏舎利塔、仏塔、精舎、法令などがあります。ビジャワダ近郊のアマラパティは、学問の中心地として有名です。この地にある国内最大のマハストゥーパは、世界最大の大理石でできた丸屋根建造物です。ナーガルジュナサガル近郊にあるナーガルジュナコンダは、ユニークな島の博物館です。この他に、アヌブ、ドゥーリカッタ、パビコンダ、サリフダム、サンカラム、ジャガヤベタ、トートラコンダなどがあります。



ナンディ・レバクシ

観光ツアー

アンドラ・プラデーシュ観光開発公社（APTDC）は、毎日7:45am～5:30pmに、ヤットリニワスから市内観光ツアーを提供しています。予約は、APTDC（Yatri Niwas complex Sardar Patel Road, Secundrabad, Hyderabad Tel:27816375）またはアンドラ・プラデーシュ州政府観光事務所5階（Gaganvihar Building, M.J. Road, Hyderabad Tel:24732554/25501519/20, Fax: 24732700）まで。APTDCでは、週末ティルパティ、スリサイラム、ナーガルジュナ・サガルなどへのツアーも提供しています。APTDC ヤットリニワスなどの系列の宿泊場所を予約することもできます。

宮殿と博物館

多くの王が、自らが愛した女性に敬意を払うために、宮殿を建てました。アンドラ・プラデーシュでは、そのために街そのものがつくられました。モハメド・クリ・クトゥブ・シャーは、1591年途方も無く優美な街ハイデラバードを作り、最愛の女性の名前バグマティと名づけました。王の特権はハイデラバードの街の主要な部分に継承されています。

かつて14の荘厳な宮殿がありました。その数々の大宮殿の中に、英国皇太子によって「アラビアンナイト」の一部と称されたチョーモハラがあります。プレーニ・ハバリーにある73メートルもの衣裳部屋は、他に見られない特異なものです。美しいファラクヌマ宮殿には王女のコレクションの翡翠の彫像などがあります。バイガーの墓、丘の上の要塞宮殿、そして州政府ビルなども見所です。



ビジャワダ

ビジャワダは本当の意味での南への玄関口としばしばみなされます。テルグの中心地域の只中にあるこの街は、古き特性をそのままとどめている街です。古くビジャナガル統治時代に始まり、その後、重要な内陸の貿易の町に発展したクトゥブ・シャヒ支配の下にさらに強固なものになった、「もてなしの心」が伝統の街です。洞窟寺院の中に保存されているこの街の過去の物語は、何世代もの時代を通してビジャワダが重要な役割を果たしてきたことを示すものです。街の周辺では多くの宗教が栄えました。アディ・シャンカラはこの地の寺院にシュリ・チャクラを備えて街を守護しました。二つのジャイナ教寺院は、千年もの信仰文化の伝統を思い起こさせてくれます。ハズラットバル・モスクには、預言者の聖なる遺品が収容されています。クリシュナ川でプラカーサム堰が建設されると、街は一部ベネチアの特長も吸収するようになりました。

料理

ハイデラバードでは、美食家の料理、洗練されたスタイル、テーブルマナー、ニザーム王室の伝承物の中に、一貫した特性があります。料理は、肉とライスの濃厚な味付けに固執します。ピリヤニは、肉とスパイシーなカレーがたっぷり入った風味の高い米料理です。ナハリとルーマリローティーがとても人気があります。さまざまな種類のケバブは、チャツネをつけてそのままいただきます。近頃は、居酒屋やファーストフード店、また西洋料理専門店も立ちならぶようになりました。

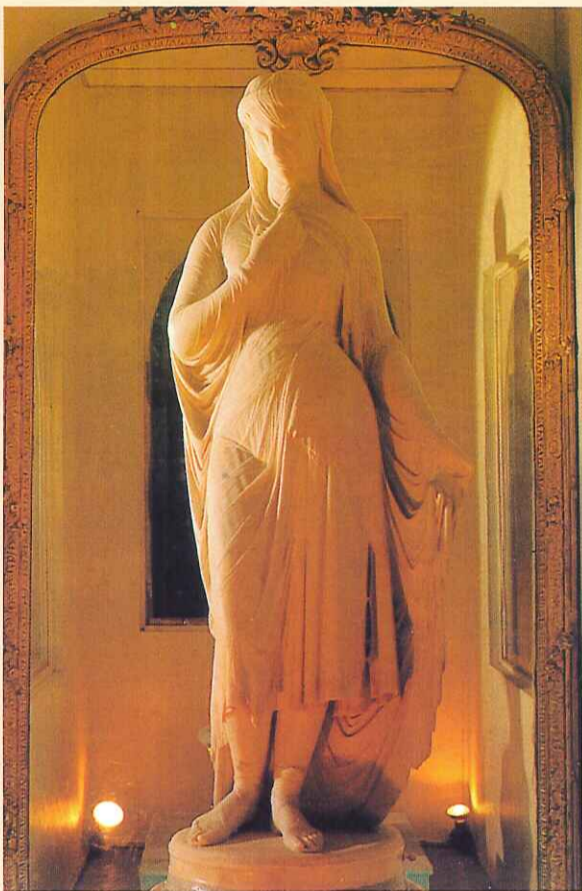
二つの顔を持つこの街には、バラエティーに富んだインド料理と世界中の料理を提供する素晴らしいレストランがあります。



サラール・ジャング博物館

ハイデラバードのサラール・ジャング博物館は、ヨーロッパ、アジア、そして極東の国々の芸術的作品の宝庫です。珍しい古美術品に対するナワーブ・サラール・ジャング三世の情熱を感じることができます。博物館の中の35の部屋に35,000もの作品が展示されています。翡翠、彫刻細工やはめ込み細工の作品、宝石をはめ込んだ箱、大理石の彫像などの珍しいコレクションに加えて、珍しい文献、ミニチュア絵画、武器や鎧兜、中国磁器、ビドリー製品、変わった時計のコレクションなども展示されています。サラール・ジャング博物館は、個人で所有していた値段のつけられないような骨董品のコレクションの数では最大規模を誇りにします。ニザーム(君主の称号)の絢爛たる生活ぶりをここで垣間見ることができます。

この博物館は金曜と祭日は閉館となっています。



ビシャカパトナム



ビシャカパトナム—略称バイザックは、アンドラ・プラデーシュの見識のあるチーフミニスターが集中開発地に指定した第2の都市です。バイザックでは百万年前の洞窟から最新のウォータースポーツまで楽しめます。何マイルにも渡る黄金色の砂浜が広がる、太陽がさんさんと降り注ぐビーチを歩いてみてください。そして時が止まった古き場所を訪れてください。アンドラ・プラデーシュへの旅は、雑踏の港町ビシャカパトナムを訪れなければ終わりません。高度3100フィートの美しく緑溢れるアルック渓谷でのトレッキング。荘厳な鍾乳石と石筍の形成に、近年のイルミネーション設備が加わってより美しくなった百万年前のボラ洞窟の探索。ディムサヤマユーリのような伝統的民族舞踊のリズムが一段と心躍らせてくれるでしょう。

ハイデラバード東部

ハイデラバードを21世紀の街にするプロジェクトで期待されているのが、ハイテクシティとフィルムシティです。アジア最大のITパークを目指して建築中のハイテクシティは、ハイデラバードの郊外に位置しています。近くには、IT協会とインド産業界が計画している権威あるケログ・ビジネススクールのための用地があります。ラモジ・フィルムシティは、文字通り、ファンタスティックな創作物です。これが100エーカー以上もあるユニバーサル・スタジオに対するハイデラバードの答えです。一つの完全な世界が、インドのシネマの夢を売る仕事を支えるために建設されました。その他の観光スポットには、日本庭園、パリジャン・大通り、ラビッシュ宮殿があります。



フィルム・シティ

アンドラ・プラデーシュ州



インド観光ハイライト

- インドは世界の観光地トップ2にランクされました。～ロンリー・プラネット 2005 調査結果
- インドは外国人旅行者の人気ナンバー3の観光地です。
- 2003年インドは訪れたい観光地の36位にランクされましたが2004年には第5位にランクされています。
- インドへの人気の高まりは、他の観光地の追隨を許さない勢いです。
- インクレディブル・インディア キャンペーンにより世界各国からのインドへの観光の重要が喚起されました。
- インドは豊かな文化を持ち、精神を高めて肉体を活気づけ、心の若返りをもたらしてくれる国です。
- インドは知識の源です。

インド政府観光局
Indiatourism, Tokyo

〒104-0061 東京都中央区銀座6-5-12 アートマスターズ銀座ビル
Art Masters Ginza Bldg., 6-5-12, Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-0061
TEL: 03-3571-5196/97 FAX: 03-3571-5235
E-mail: indtour@blue.ocn.ne.jp
Website: <http://www.indiatourism.jp> (日本語)
Website: <http://www.incredibleindia.org> (英語)